

'21くらしき

市政概要

令和三年度

倉敷市議会事務局



Kurashiki city council

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

倉敷市議会事務局

表紙の説明

災害公営住宅(川辺・有井・箭田南団地…表紙写真上から)

平成30年7月豪雨災害で、真備地区では面積の約3割が水没し、約5,800棟の家屋が全半壊するなどの大きな被害を受けました。

自力再建が困難な人に向けた災害公営住宅は、真備町川辺(40戸)、有井(20戸)、箭田南(31戸)の3カ所、計91戸の整備が進められ、令和3年3月に完成、同4月から入居が開始されました。

災害公営住宅には、入居者同士が交流するための集会室が設置され、市が自治組織の結成などコミュニティ構築を支援しているほか、万一の災害発生の際には、建物の屋上を地域の浸水時緊急避難場所として活用できるなど、安心して暮らしやすい住環境となるよう整備しました。

令和3年度版

市 政 概 要

令和3年8月 印刷

令和3年8月 発行

編集 倉敷市議会事務局議事調査課

発行 倉 敷 市 議 会 事 務 局